

一丸で守る

住民の安全・安心を守る

青森消防本部は、青森市、外ヶ浜町、今別町、平内町、蓬田村の1市3町1村で構成され、その区域にいる全ての住民が、我々の「守る」対象です。青森消防本部の管内は、海（陸奥湾）、山（八甲田山）と豊かな自然環境に恵まれ、また、空港や鉄道（新幹線・青函トンネル）など多くの人が利用する施設もあります。多くの入力を職員一丸で「守る」ことが任務です。皆さんも、同じ「守る」決意のもと、一緒に青森消防本部で働きましょう！

青森地域広域事務組合消防本部の紹介

青森県内には11の消防本部があり、青森消防本部は其中で代表消防本部として、各消防本部を取りまとめる役割を担っています。
大規模災害発生時には、青森県の大隊長をはじめとして被災地に職員を派遣し、各消防本部や関係機関との活動調整を行います。



1本部、4消防署、10分署で管轄区域を守っています。

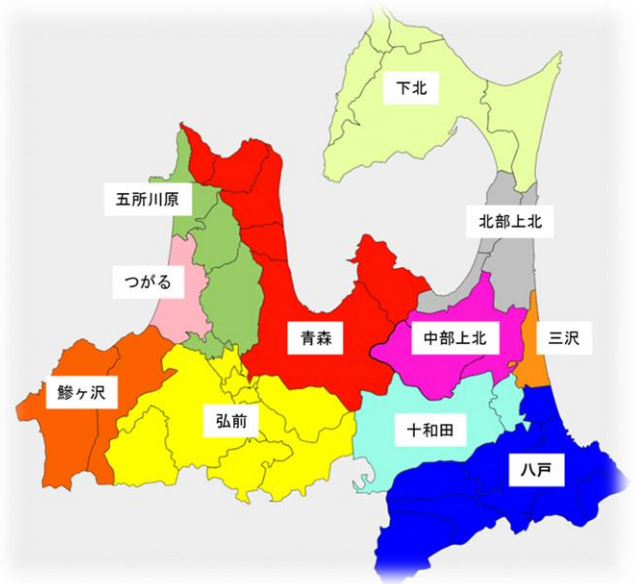
青森消防本部の消防署の配置状況



緊急消防援助隊の活動(宮城県丸森町)



緊急消防援助隊の活動(岩手県大船渡市)



幼稚園児への防災講話

青森消防本部の組織

消 防 本 部

※約60人

消 防 長

消 防 次 長

勤務は、日勤（8時30分～17時00分）。※通信指令課は隔日勤務（下記消防署と同じ）

庶務課

人事・議会・予算・契約などの事務

予防課

消防用設備・危険物などの事務

警防課

出動計画・救急体制・消防団などの事務

通信指令課

119番通報の受信・無線保守などの事務



119番通報を受ける通信指令課員

消 防 署

※約430人

中央
消防署

東
消防署

浪岡
消防署

平内
消防署

勤務は、8時30分から翌日8時30分までの24時間勤務。

常に、消防車両に必要な隊員が乗車できるよう、週休日を割り振り、消防体制を確保しています。



- 沖館分署
- 新城分署
- 浪館分署
- 油川分署
- 外ヶ浜分署
- 今別分署

- 筒井分署
- 原別分署
- 浅虫分署
- 横内分署

〈勤務の例〉

1週間目の例

日	月	火	水	木	金	土
勤務	休日	勤務	休日	休日	休日	勤務
当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日	当番日

⇒ 2週間目の例

日	月	火	水	木	金	土
休日	勤務	休日	勤務	休日	休日	休日
非番日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	週休日



出動に備え訓練や点検を行う隊員

消防士に採用されると

消防士に採用されると、青森県消防学校で約8ヶ月間の初任総合教育を受けます。消防学校では、県内各消防本部に採用された消防職員（令和7年度は18～29歳の67人が入校）と一緒に教育を受け、寮において共同生活を営みます。各消防本部の消防士との関係は、卒業後も続きます。

消防学校で培った同期との信頼関係により、訓練、災害現場において円滑な活動ができる情報共有の機会になるなど、消防人生にとって大切な財産となります。

消防学校卒業後は、各所属で消防士として勤務します。各消防署では、消防隊、救助隊、救急隊の先輩が皆さんと一緒に勤務し、これまでの経験や知見を活かして、いろいろな訓練や教養を行いながら、皆さんをサポートします。



青森県消防学校入校式の様子

資格取得や研修制度

消防大学校(東京都調布市)での研修



総務省消防庁では全国規模の訓練等に携わることもあります。(配属先によります。)

各消防署で勤務すると、「オレンジの救助服を着て、救助隊として現場で活動したい」、「救急隊になり、将来は救急救命士として多くの命を救いたい」、「はしご車を運転して、特殊な災害でも対応できる機関員になりたい」など、いろいろな分野に挑戦したいという思いが芽生えます。

救急隊になるためには、そのための専門的な教育を受ける必要があります。また、救助隊としてより高度な技術等を身につけるためにも、同じように専門教育を受ける必要があります。

青森県消防学校では、「救急科」、「救助科」、「予防査察科」など様々な専門教育を実施しており、県内各消防本部の職員が受講しています。また、より高度な知識や技術を身につけることができる「消防大学校」への入校や、救急救命士になるための「救急救命研修所」への派遣も行っております。

このほか、消防活動に必要な各種資格者の計画的な養成や、青森県庁や消防学校教官、防災航空隊（防災ヘリしらかみ）への職員派遣、実務研修として「総務省消防庁」へ期限付きで出向して、国の仕事をする機会もあるなど、職員のキャリアアップと全国の消防本部とのネットワークの形成にも努めております。

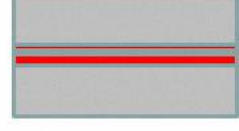
消防士の階級と昇任

○消防職員の階級制度

消防職員は、火災や各種災害などの現場で、火災の鎮圧や人命救助などの危険な業務に従事することとなります。その消防活動を効率的に行い、かつ、職員の安全を確保するためには、確固とした指揮命令系統を備えた体制が必要になります。よって、こうした消防職員の指揮命令系統を確立するため、階級制度のもとで中隊・小隊などの部隊を編成し、各隊長の指揮、命令に基づき、消防活動を行っています。

〈消防職員の階級〉



 しょうぼうせいがん 消防正監		 しょうぼうしれいかん 消防司令補	
 しょうぼうかん 消防監		 しょうぼうしちやう 消防士長	
 しょうぼうしれいちやう 消防司令長		 しょうぼうふくしちやう 消防副士長	
 しょうぼうしれい 消防司令		 しょうぼうし 消防士	

○消防職員の昇任制度

青森消防本部の昇任制度は、試験による昇任制度と、実務能力や実績による選考昇任制度となっています。最初のステップとしては、試験による昇任となり、性別や年齢に関係なく、本人の努力がステップアップのキーとなります。（※各階級ごとに受験資格有り）

◆試験・・・消防士長、消防司令補、消防司令の階級 ◆選考・・・消防司令長、消防監、消防正監の階級

〈青森消防本部の階級、役職、階級別職員の割合〉

消防正監	消防長
消防監	消防次長 消防署長
消防司令長	課長 副署長・主幹
消防司令	主幹 指揮隊長 分署長
消防司令補	係長 主査 隊長
消防士長	主任
消防副士長	副主任
消防士	係員

消防監以上	1.2%
消防司令長	2.5%
消防司令	8.8%
消防司令補	18.7%
消防士長	31.6%
消防副士長	12.1%
消防士	25.1%



私は、子どもの頃から救急車が大好きで「いざという時に誰かの力になりたい。」という思いから、学生時代に救急救命士を志し、資格取得後に青森消防に入りました。

10年以上救急隊として勤務し、現在は消防本部で救急に携わる部署に勤務し、現場に出動する救急隊が円滑に活動できるよう「現場を支える救急救命士」として、現場からではなく、デスクワークの方を中心に、地域住民の命を守るために救命処置の普及活動等、様々な業務に挑戦しています。

また、私生活では5人の子どもを育てる父親として、仕事と家庭の両立にも力を入れ、ワークライフバランスを体現できるよう公私ともに奮闘中です。

公私ともに充実した毎日を過ごすことができる環境が青森消防にはあります。是非一緒に働きましょう！

伊藤消防士長（平成25年度採用）

私は、人命救助の最前線で活躍している救助隊として、困っている人、助けを求めている人に寄り添い、一人でも多くの命を助けたいと思い消防士を目指しました。

現在は、東消防署の高度救助隊として、火災出動はもちろんのこと、救助技術を競う大会では、ロープブリッジ救出という種目で仲間とともに全国大会出場を目指し、日々訓練やトレーニングを行っています。

また、大雨や地震など大規模な災害が発生した場合には、県内外問わず被災地へ出動し救助活動を行うため、どんな状況にも対応できるよう日々訓練に励んでいます。

私たちの活動する災害現場は、常に危険と隣り合わせですが、人命救助の最前線で活動できる本当にやりがいのある職業です。

ぜひ青森消防の一員として地域住民の安全・安心を守りませんか！
私たち青森消防は皆さんを待っています。



小松消防士（令和2年度採用）



張間消防士（令和5年度採用）

私は、最前線で人の命を救う救急救命士になりたいと思い、消防士を目指しました。

現在は消防隊・救急隊として様々な災害へ出動するとともに、予防係として、建物に設置されている消防用設備の維持管理の状況や、避難経路の確認のために立入検査を行い是正指導をしています。

市民の皆様から頼りにされる消防士となれるように、常に学び続ける姿勢を持ち、女性だからこそ出来ることを考えながら、日々業務に取り組んでいます。

力仕事が多い仕事だと思われがちですが、女性でも活躍できる場面はたくさんあります。

青森消防は現在7人の女性消防士が在籍し、それぞれの特徴を生かしながら全員のびのびと働いています！女性だからと言ってあきらめず、私と一緒に地域住民の命はもちろん、安心・安全を守っていきましょう！

当消防本部の救助隊は県内でも有数の『高度救助隊』に位置づけられ、高度な救出救助能力と資機材を有する救助専門部隊となります。

火事現場のみならず、交通事故や山岳事故、水難事故といった様々な災害現場に出動するほか、近年多発する地震の際には座屈建物を搜索し要救助者を救出したり、放射線・生物・化学物質等によるNBC災害にも対応できる特殊な装備を有する部隊でもあります。

また、救助技術を競う大会では毎年好成績を修め、上位大会への出場を果たしており、そのために日々訓練やトレーニングに励んでいます。

是非青森消防に入って、救助隊員を目指し、現場の最前線で一緒に地域住民の命を守りましょう！



青森消防救助隊

受験資格等

採用試験・受験資格等の詳細は、**青森市ホームページ**
(職員採用試験案内)をご覧ください。

○大学卒業程度(H8.4.2～H16.4.1までに出生)

申込期間	令和7年5月7日～5月30日まで
試験日程	令和7年6月15日(日)
試験会場	青森公立大学
採用予定人員	若干名
採用予定日	令和8年4月1日付

○高等学校卒業程度(※今年度分の試験詳細は8月頃発表予定)

申込期間	令和7年8月から9月頃(予定)
試験日程	令和7年9月から10月頃(予定)
試験会場	未定
採用予定人員	未定
採用予定日	令和8年4月1日付

○身体等の要件

視力 (矯正視力を含む)	・両眼で0.7以上 ・一眼で0.3以上 ・色覚は重大な支障がないこと
-----------------	--

※来年(R8)以降、大学卒業程度の試験方法の一部に変更があります。詳しくは青森市HPの採用ページをご確認ください！

青森市HP採用案内



女性消防職員も活躍しています！